

【農地利用最適化推進委員（応募）】

令和5年12月1日現在（最終公表）

受付番号	農地利用最適化推進委員候補者									
	氏名	性別	年齢	職業	農業経営の状況		認定農業者の該当・非該当	担当区域	応募理由	農業委員への応募状況
					営農類型	経営規模				
1	村上 誠	男	53	農業	水稲 果樹	水稲0.46ha りんご2.3ha	該当	六郷地区	廃園や伐採が目立っている現状を防ぐことが出来ないか、農地利用最適化推進委員として、その実現に取り組みたい。	無
2	佐藤 仁	男	31	農業	果樹	りんご2.6ha	該当	浅瀬石・追子野木地区	遊休農地が拡大しているように思える。 農地利用最適化推進委員の業務を通して地域農業の役に立てればと思い応募しました。	無
3	櫻庭 太志	男	64	農業	果樹	りんご1ha		中野地区	農地利用最適化推進委員の業務を通して、地域農業の役に立てればと思い応募しました。	無
4	山口 貴佳	男	52	農業	水稲 果樹	水稲1.6ha りんご3ha	該当	山形地区	近年、遊休農地が増えている。その農地をいかに有効利用できるか、みんなで考えていきたい。	無

5	佐藤 徹志	男	63	無職				浅瀬石・追子野木地区	黒石市の水田は、洪水時の冠水被害や、渇水時の水不足の心配もなく、県内の他の地域と比べて、安心、安全な稲作適地です。しかし、高齢化が進行し、後継者不足による継続性が課題であり、その対策に取り組みたい。	有
6	齋川 隆夫	男	83	農業	水稲 果樹	水稲0.3ha リンゴ0.3ha		沖揚平・厚目内地区	近年、空き農地が多く、どうにかして活用できるよう取り組んでいきたい。	無
7	高木 一弥	男	46	農業	水稲	水稲15ha		黒石地区	近年、後継者不足により、遊休農地が拡大しているように思える。こうした現状を解消するために、農地利用最適化推進委員の業務を通じて地域農業の役に立てればと思ひ応募しました。	無